

1. 全国学力・学習状況調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 令和3年度 全国学力・学習状況調査における千歳市の状況

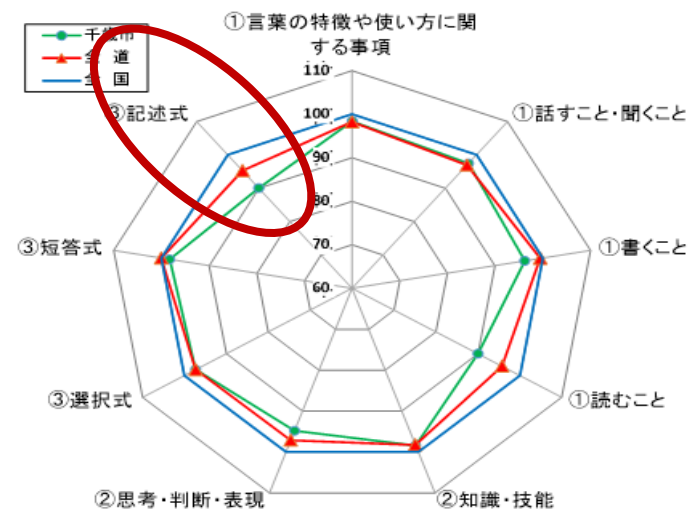
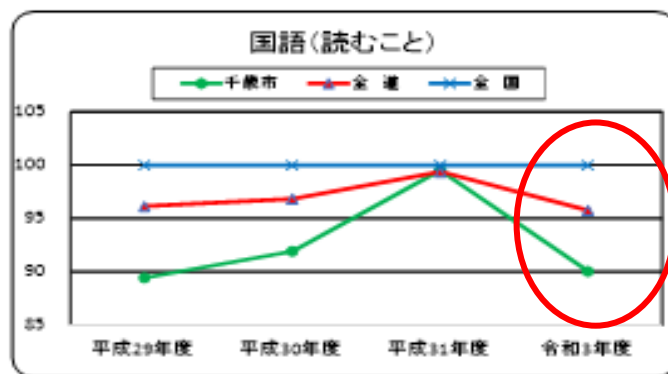
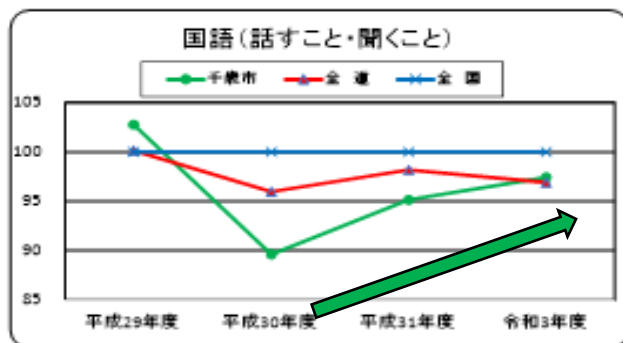
		小学校				中学校			
		国語		算数		国語		数学	
		R3	H31	R3	H31	R3	H31	R3	H31
千歳市	平均正答率	62.4	63.4	66.6	63.4	61.9	67.8	53.7	53.4
	全道との差	-0.8	0.6	-0.9	-1.1	-2.6	-4.3	-2.2	-4.7
	全国との差	-2.3	-0.4	-3.6	-3.2	-2.7	-5	-3.5	-6.4
全国との比較		ほぼ同様(下位)		やや低い		ほぼ同様(下位)		やや低い	

3. 小学国語・中学国語 千歳市の状況

【小学国語】

○「話すこと・聞くこと」領域で、右肩上がりの結果

●「読むこと」の領域や、「記述式」の問題で課題



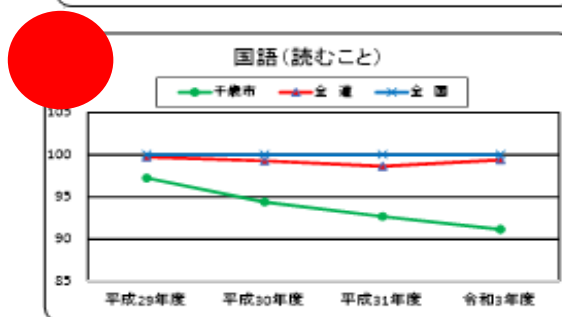
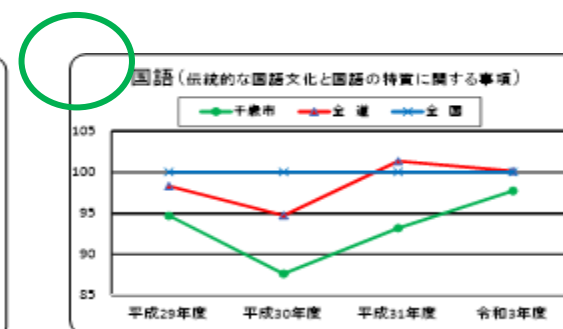
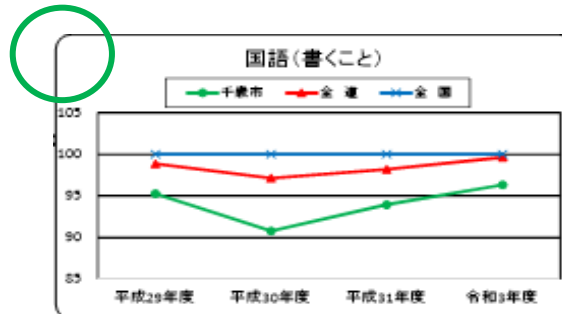
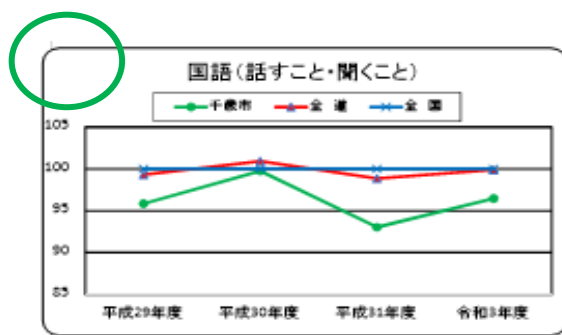
3. 小学国語・中学国語 千歳市の状況

【中学国語】

千歳市は、その差を詰めたとはいえ、あと一歩、国語の力を高める必要

○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な…」の3つで、右肩上がり

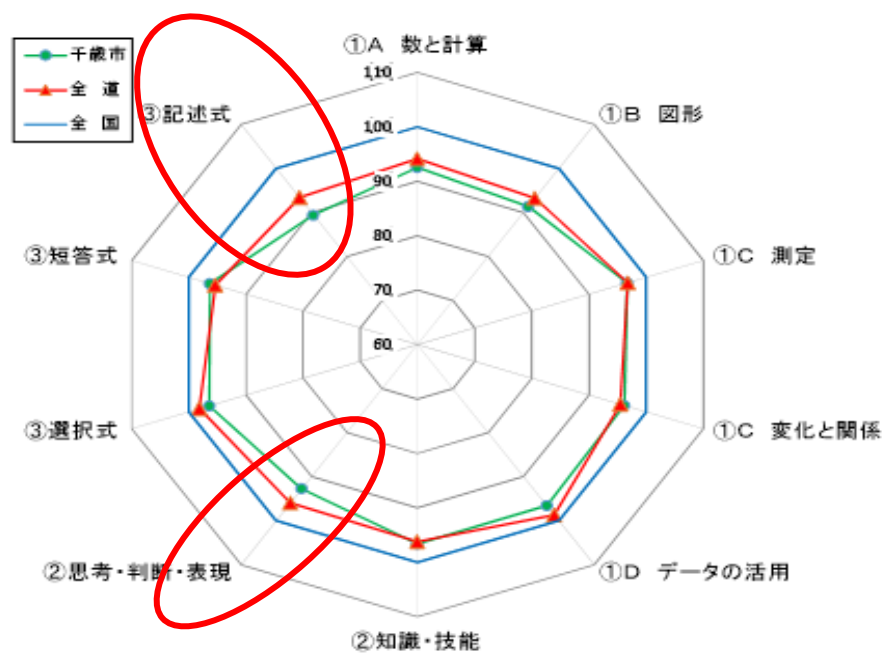
●「読むこと」は年々低下傾向



4. 小学算数・中学数学 千歳市の状況

【小学算数】

●「思考・判断・表現」、「記述式」の部分で、課題

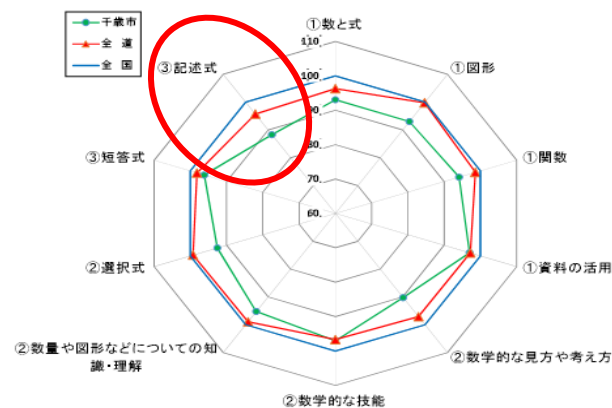
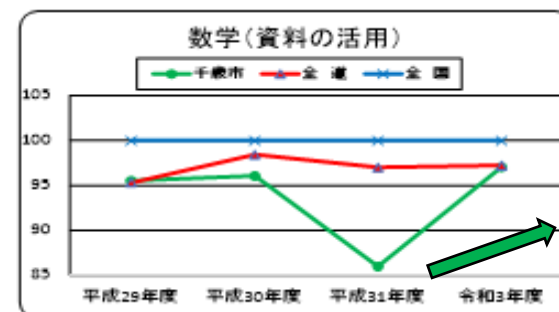
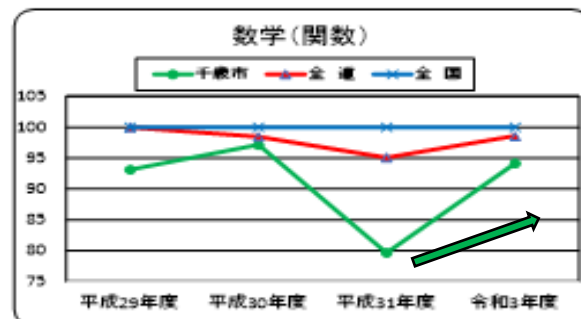
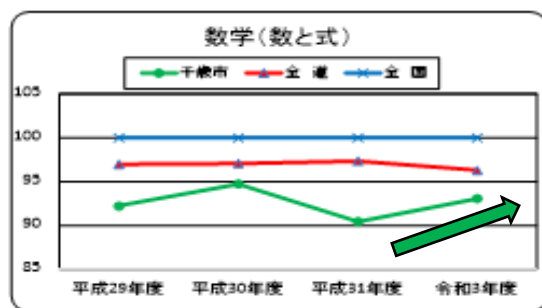


4. 小学算数・中学数学 千歳市の状況

【中学数学】

○「数と式」、「関数」、「資料の活用」の3つで、右肩上がり

●「記述式」で全国との差が顕著



5. 国語における特徴的な問題 <R3 小学国語> 話すこと・聞くこと

全国平均 74.9%
千歳市平均 73.4%(-1.5ポイント)

目的に応じた資料の活用

（資料①）を示すみなさん、これを見てくさい。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになります。津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

（資料②）を示す。一つは、「女子英学塾」を設立したことです。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんどありませんでした。

（資料③）を示す。もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したことです。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかかげていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

（資料④）を示す。この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思っています。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることにつながったのだと思います。

1 上野さんの学級では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの「スピーチメモ」、「スピーチ」から（資料①）から（資料④）です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「スピーチメモ」

「スピーチ」

（資料①）

（資料②）

（資料③）

（資料④）

上野さん

「はじめ」
○話題の提示 〈資料①〉
・新五千円札の「顔」
・津田さんの説明

「中」
○津田さんの業績
・業績1 〈資料②〉
女子英学塾を設立
・業績2 〈資料③〉、④
女性の英語教師を育成

「終わり」
○自分の感想

④ 教師になった卒業生の勤務校のある場所 (1903～1912年)
・印は英学塾のある市町村など

③ 津田梅子の業績2
女性の英語教師を育成

② 津田梅子の業績1
1900年
女子英学塾を設立

① 新五千円札の「顔」
津田梅子(1864～1929年)

小国-2

小国-1

- 4 ① 上野さんが、「スピーチ」の練習で、（資料②）と（資料③）を使った理由の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 2 ② 1 難しい言葉の意味を示すことで、聞き手に正確に理解してもらうため。
- 3 ③ 2 自分の疑問点を示すことで、聞き手にもいっしょに考えてもらうため。
- 4 ④ 3 スピーチでは話さない情報を示すことで、聞き手に新たな興味をもってもらうため。
- ④ ④ 特に伝えたいことの要点をまとめて示すことで、聞き手の理解を助けるため。

5. 国語における特徴的な問題 <R3 中学国語> 読むこと

【文章の一部】

〔このままのあらすじ〕 青沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶島で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶島の中で寝ころびながら、いろいろ雑談をしていると、彼はいつもの自慢話も新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって下のごとく質問した。

「おめえはいままでに鼠を何びきとったことがある。」
 智識は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣にいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事実は事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとうとうと思うって、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からびんとつっぱっている長いひげをけにどこか足りないところがあつて、彼の氣焔を感じた。やすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの護してますます形勢を悪くするのも愚である、いつそのこと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたらう」と、

果然彼は、塙壁の欠所に啞喊してきた。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたらう」とは、得意氣百は一人でいつでも引き受けるが、いたちつてえやつは手い「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石灰の袋を持ってらつて飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたち、つてけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものへ追いこんだと思ひねえ。」

「うまくやったね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つてえものはいたちを見たと胸が悪くならあ。」

彼はここにいたつて、あたかも去年の臭気を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんまで

輩も少々気のどくな感じがする。ちつと景気をつけてやろうと思つて、

「しかし鼠なら、君ににらまれては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだからとつて色つやがいのだらう。」

黒のごきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は啞然として大息していつ。

「考げえるとつたらねえ。いくら稼いで鼠をとつたつて——いつてえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえ。人のとつた

全国平均 71.0%
 千歳市平均 68.4% (-2.6ポイント)

常に笑つた。元來黒は自慢をするだして謹聴していれば、はなはだ御しこの場合にも、なまじいおのれを弁べらしてお茶をにごすにどくはない

彼はな お語をつづけて、向かつて、ひどい目によめえ、大きないたちの眼

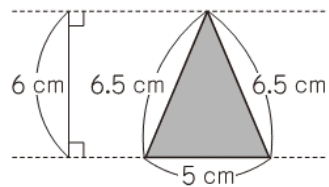
氣で追つかけて、とうてのくさくねえのつて、

登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する

三 — 線部②「反対の結果を呈出した」とありますが、このことは「黒」のどのような様子から分かりますか。【文章の一部】の中から探し、抜き出しなさい。

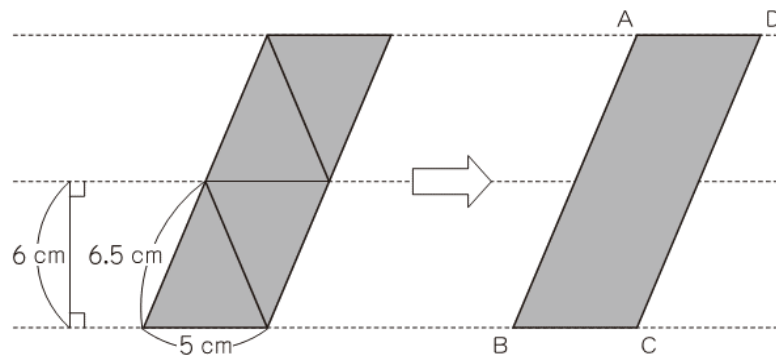
5. 算数における特徴的な問題 <R3 小学算数> 図形

(3) 次のような二等辺三角形があります。



複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる

上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。

全国平均 46.0%

千歳市平均 41.2% (-4.8ポイント)

正答例

【求め方】

辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、 12cm です。

平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、 60cm^2 です。

5. 数学における特徴的な問題 <R3 中学数学> 資料の活用

- 5 下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43	46	46	52	53	55	56	56	56	57
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

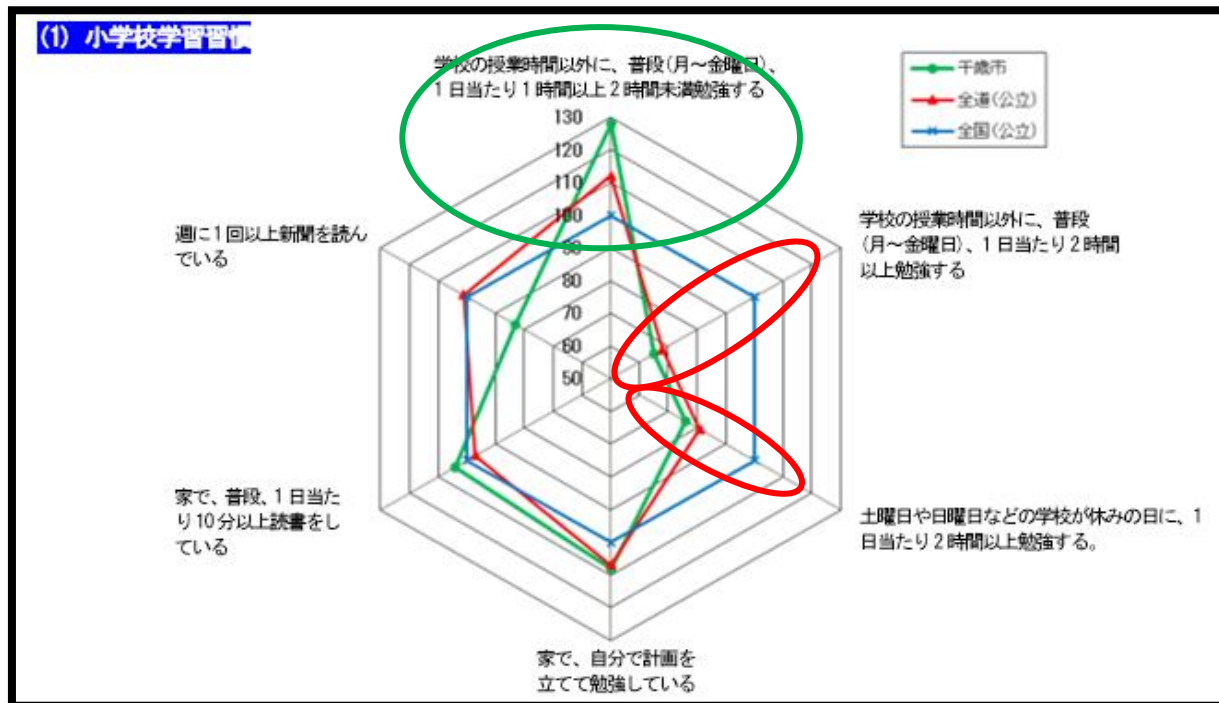
反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

与えられたデータから中央値を求めることができる

全国平均 84.5%

千歳市平均 87.2%(+2.7ポイント)

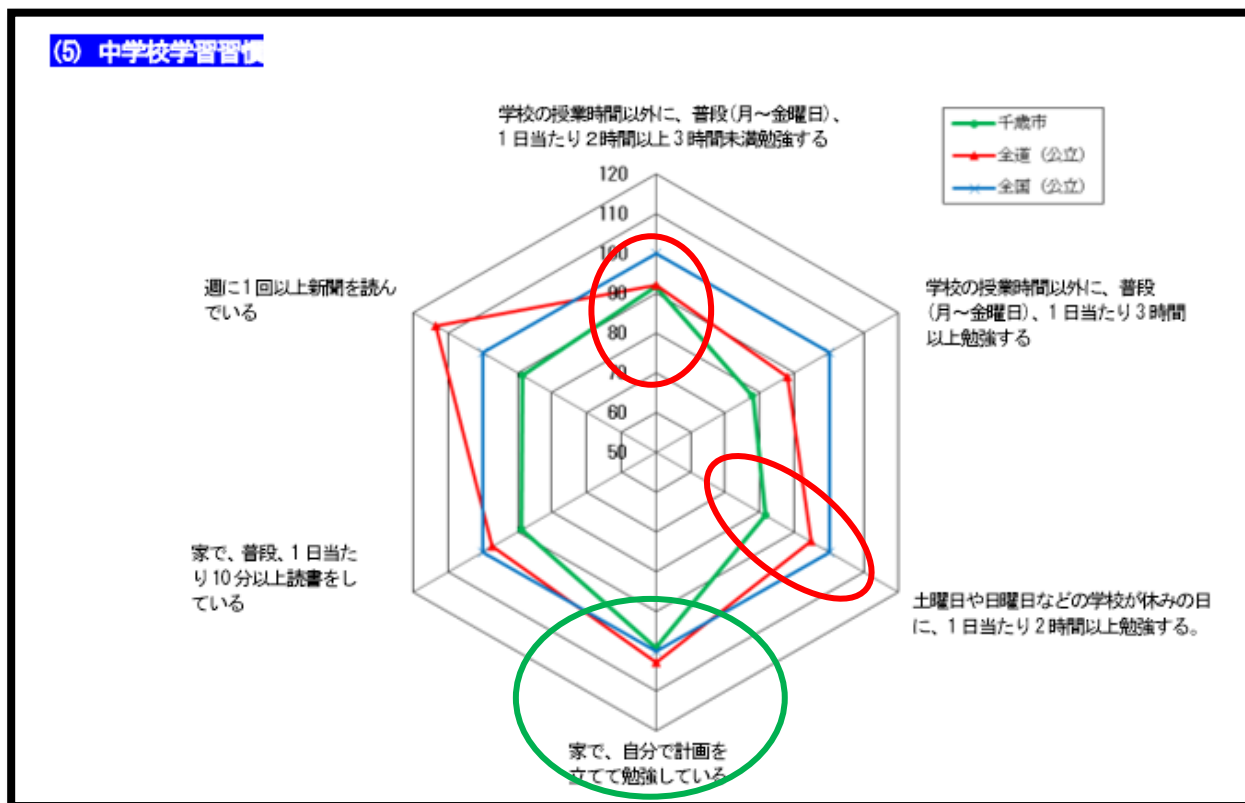
6. 児童生徒質問紙の結果 <小学校 学習習慣>



○「普段、1時間以上2時間未満勉強する」は全国と比べても高く、「学年×10分+10分の家庭学習の取組」が定着。

●「普段、2時間以上勉強する」、「学校が休みの日に、2時間以上勉強する」は、全国と比べて低い。

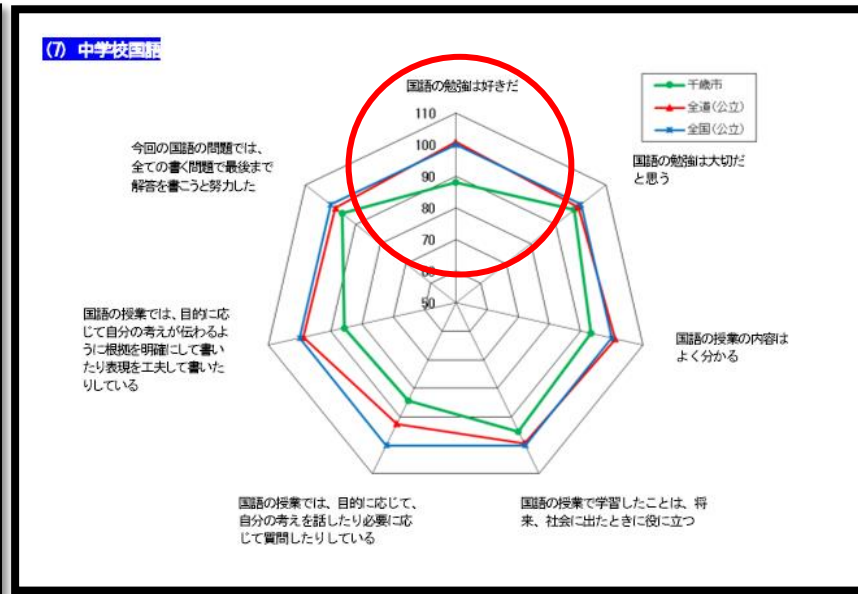
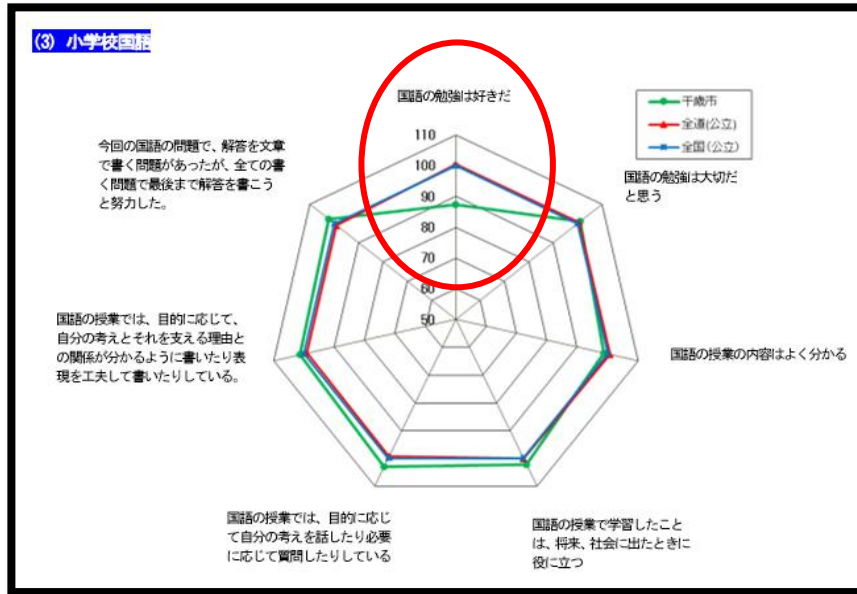
6. 児童生徒質問紙の結果 <中学校 学習習慣>



○「家で、自分で計画を立てて勉強している」生徒が、あと一歩。定期テスト前の計画表づくり、日常から予定表を記入する習慣づくりに取り組む学校もあり、その成果。

●「普段、2時間以上勉強する」、「学校が休みの日に、2時間以上勉強する」は、全国と比べて低い。

6. 児童生徒質問紙の結果 <小学校・中学校 国語>



●小中ともに、「国語の勉強は好きだ」という児童生徒が多くない。

7. 調査結果の分析

- ① 下位層や中盤層への手厚さが成果。上位層への手立てを。
- ② 「国語の勉強が好き」という児童生徒を育てるために、小中ともに、国語科の授業改善。
- ③ 「活用の中に基礎がある」。
- ④ 「全国学力調査の教科問題」等の利活用。
- ⑤ 今年度の学力向上モデル校の取組。